

第 6 期計画の進捗状況

参考資料 2

項目	対策・計画目標 (R1～R5年度)			実績 (R1～R5年度)	※ 評価
計画期間内に 達成すべき目 標	環境基準点における水質 COD(75%値)	現状 (H30年度末) 2.1mg/L	目標 (R5年度末) 2.0mg/L	(R5年度) 2.5mg/L	遅延
	全りん(年平均値)	0.005mg/L	0.005mg/L (現状水準の維持・向 上)	0.005mg/L	
	湖心の透明度	現状 (H30年度末)	目標 (R5年度末)	(R5年度)	
	湖心透明度 (年平均値)	6.2m	6.5m	7.0m	達成
生活排水処理 施設の整備	野尻湖に流入する汚濁負荷を削減するため、下水道等への接続を推進するとともに合併浄化槽の整備を図る。また、信濃町全体における生活排水施設整備率の向上を図る。				順調
	対 策	現状 (H30年度末)	目標 (R5年度末)	生活排水整備率	
	生活排水施設整備率 (信濃町全域)	70.2%	75.0%	79.0%	
下水道等への 接続の促進	直接流域内の下水道の供用区域において下水道接続率の向上を目指し、町の融資制度の活用、個別相談等により下水道へ接続するよう、地域住民に対し指導及び啓発を行う。併せて地元自治体と協力して農業集落排水処理施設等への接続率の向上を図る。				遅延
	対 策	現状 (H30年度末)	目標 (R5年度末)	下水道接続率	
	下水道等接続率 (直接流域)	67.0%	90%	80.1%	
排水規制	排水基準適用事業場に対する立入検査等の監視を強化するとともに、違法行為に対し厳正に対応する。				順調
	対 策	推進事業量 (R1～R5年度)		立入検査件数	
	工場・事業場立入検査 (直 接流域内)	排水基準適用事業場：年 1 回 小規模・未規制事業場：2 年に 1 回		計 22 回	
環境学習の推 進	小学生や地元住民等を対象に、環境学習の一環として野尻湖クリーンラリーを引き続き実施する。実施に際し、事前学習等を通じて環境意識の啓発に努めるとともに、ボランティアによる継続的な浄化活動を推進する。また、農業用水路に設置された水生植物を利用した水質浄化池を、環境学習の場として活用に努める。 これらの活動にあたっては、地域住民等の協力を得ながら実施することにより、地域全体における環境保全意識の向上を図る。			野尻湖クリーンラリーの開 催 (年 1 回：R2 年度以外)	順調
エコツーリス ムの推進	野尻湖の良好な水質や水辺環境、流域の豊かな自然を活かしたエコツーリズムの推進を図るため、観光協会等の関係団体とともに新たな観光資源を掘り起こし、湖上での体験学習や環境保全活動への参加も視野に入れた魅力的な自然体験プランの設定と情報発信を目指す。 併せて、野尻湖数辺で水辺に親しめる遊歩道や公園等の整備を進め、地域住民や観光客が野尻湖を取り巻く豊かな自然を感じることで、野尻湖の環境保全に対する関心を高め、環境保全意識の向上を図る。			野尻湖と親しむプロジェク トチームでは、野尻湖の学 習やカヌー体験などのイベ ントを開催し、信濃町森林 療法研究会では、町民向け セラピー体験イベントを実 施するなど環境保全や自然 体験活動の取組を進めてい る。	順調
情報収集・情 報発信	野尻湖の現状に関する情報の共有と環境保全意識の向上を図るため、野尻湖の水質、本計画に基づく対策の進捗状況や研究成果及び地域における水質や生態系の保全活動の状況について情報収集し、その内容について積極的な情報発信に努める。 情報発信に当たっては、野尻湖ナウマンゾウ博物館をその拠点とし、展示や講演会の開催等により幅広い情報の提供に努める。また、ホームページや広報誌を活用するほか、親水エリアにおける情報発信についても検討するなど、地域住民や観光客が容易に情報に触れることができるよう環境整備に努める。			ナウマンゾウ博物館におい てホシツリモなどの環境に 関する展示	順調
水文化の継承 と発展	野尻湖に関する歴史・文化を将来にわたって継承することにより、地域住民及び野尻湖を訪れる人々が、野尻湖及び野尻湖を取り巻く環境の重要性を認識できるようにし、もって環境保全意識の向上を図る。			ナウマンゾウ博物館での環 境に関するパネル展示	順調